

四万十市議会だより

No.75
2023.11.1 発行

- 議案 ... 1ページ
- 一般質問 ... 3ページ
- トピックス ... 17ページ
- 住民と議会との懇談会が
4年ぶりに開催されます ... 18ページ

～もくじ～

トンボ自然公園

発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）
〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827

令和5年9月定例会

四万十市議会9月定例会は、9月4日に開会し、9月22日までの19日間の会期で開催されました。今期の定例会には、「専決処分の承認」1件、「令和4年度決算の認定」14件、「令和5年度補正予算」3件、「条例の制定、改正、廃止」4件、「その他」4件の議案が提出され、慎重に審議を行いました。

一般質問では、14名が「学校施設、学校教育」、「デジタル化の推進」、「生涯学習」などについて質問を行いました。

議案番号	件 名	結果
1	専決処分の承認を求ることについて(令和5年度四万十市一般会計補正予算(第3号))	全会一致承認
2	令和4年度四万十市一般会計決算の認定について	全会一致認定
3	令和4年度四万十市国民健康保険会計事業勘定決算の認定について	全会一致認定
4	令和4年度四万十市国民健康保険会計診療施設勘定決算の認定について	全会一致認定
5	令和4年度四万十市奥屋内へき地出張診療所会計決算の認定について	全会一致認定
6	令和4年度四万十市後期高齢者医療会計決算の認定について	全会一致認定
7	令和4年度四万十市と畜場会計決算の認定について	全会一致認定
8	令和4年度幡多公設地方卸売市場事業会計決算の認定について	全会一致認定
9	令和4年度四万十市鉄道経営助成基金会計決算の認定について	全会一致認定
10	令和4年度幡多中央介護認定審査会会計決算の認定について	全会一致認定
11	令和4年度四万十市介護保険会計保険事業勘定決算の認定について	全会一致認定
12	令和4年度四万十市園芸作物価格安定事業会計決算の認定について	全会一致認定
13	令和4年度四万十市水道事業会計決算の認定及び利益の処分について	全会一致認定及び可決
14	令和4年度四万十市下水道事業会計決算の認定について	全会一致認定
15	令和4年度四万十市病院事業会計決算の認定及び資本剰余金の処分について	全会一致認定及び可決
16	令和5年度四万十市一般会計補正予算(第4号)について	賛成多数可決
17	令和5年度四万十市国民健康保険会計診療施設勘定補正予算(第2号)について	全会一致可決
18	令和5度四万十市介護保険会計保険事業勘定補正予算(第2号)について	全会一致可決
19	四万十市商店街駐車場の設置及び管理に関する条例	全会一致可決
20	四万十市税条例の一部を改正する条例	全会一致可決
21	四万十市総合文化センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
22	新型コロナウイルス感染症患者等に対する業務に従事した四万十市立市民病院及び西土佐診療所職員の特殊勤務手当に関する条例を廃止する条例	全会一致可決
23	辺地総合整備計画を定めることについて	全会一致可決
24	辺地総合整備計画の変更について	全会一致可決
25	四万十市過疎地域持続的発展計画の変更について	全会一致可決
26	四万十市道路線の認定について	全会一致認定

■議案提出議案

議案番号	件 名	結果
1	四万十市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決

議案の賛否の状況

平野正	宮崎努	川村一朗	上岡正	山崎司	谷田道子	西尾祐佐	大西友亮	松浦伸	川渕誠司	上岡真一	山下幸子	廣瀬正明	寺尾真吾	前田和哉	澤良宜由美	川村真生	鳥谷恵生
第16号議案	議長	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○

賛成○ 反対×

■陳情(令和5年6月定例会からの継続審査事項)

委員会名	受理番号	件 名	結果
総務	1	旧下田中学校校舎等を中心とした下田地域の防災や活性化策等について	趣旨採択

9月定例会に提出された意見

健康保険証の継続を求める意見書（川村一朗 議員 他3名 賛成少数否決）

意見書の賛否の状況

平野正	宮崎努	川村一朗	上岡正	山崎司	谷田道子	西尾祐佐	大西友亮	松浦伸	川渕誠司	上岡真一	山下幸子	廣瀬正明	寺尾真吾	前田和哉	澤良宜由美	川村真生	鳥谷恵生
意見書	議長	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×

賛成○ 反対×

ここを質す!

一般質問

質問順位	質問者	質問要旨	質問掲載ページ
1	西尾 祐佐 (一問一答)	1 学校施設 3 文化、歴史・伝統等の継承、保存、振興 4 子育て支援 2 デジタル化の推進 5 環境衛生	3
2	松浦 伸 (一問一答)	1 防災 3 地域に活力を 2 教育施策	4
3	澤良宜由美 (一問一答)	1 認知症対策 3 市民の健康を守る対策 2 終活支援	5
4	川渕 誠司 (一問一答)	1 大学誘致の検証 2 旧下田中学校・旧中医学研究所の有効活用 3 学校教育 5 生涯学習 4 こどもの権利	6
5	鳥谷 恵生 (一問一答)	1 新食肉センターの整備	7
6	川村 一朗 (一問一答)	1 市民の健康維持 3 合併浄化槽 2 マイナ保険証 4 川漁の活性化	8
7	前田 和哉 (一問一答)	1 教育環境 2 南海トラフ地震対策	9
8	廣瀬 正明 (一問一答)	1 職員の健康 3 上水道 2 育児休業 4 四万十市市民表彰式	10
9	上岡 正 (一問一答)	1 市長の政治姿勢	11
10	川村 真生 (一問一答)	1 子ども達の夏場の遊び場 2 子どもを育てながらでも働きやすい環境整備 3 学童保育 4 学校給食	12
11	谷田 道子 (一問一答)	1 高齢となっても住み慣れた地域で安心して住み続けるために 2 市長の政治姿勢 4 中小事業所の営業と暮らしを守る 3 指定管理制度	13
12	上岡 真一 (一問一答)	1 教育 3 福祉 2 生涯学習 4 介護	14
13	大西 友亮 (一問一答)	1 国民健康保険 3 市長の政治姿勢 2 総合文化センター	15
14	山下 幸子 (一問一答)	1 自治体のデジタル化 3 住まいの確保 2 A E D	16

一般質問は9月11日(月)、12日(火)、13日(水)の3日間行われました。



西尾 祐佐議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

・中学校のプール・更衣室等について ・公衆無線LANについて ・学芸員の採用について ・総合文化センターの指定管理について ・子育て支援について ・下水、し尿処理について



中学校のプール・更衣室等について

質問 現状の認識と取組について問う

答弁 老朽化により、プール本体や附帯設備での修繕箇所がある。また各種の要望もあり、当面は安全性を最優先に必要な維持修繕に努めていきたい。



中村中学校のプール更衣室

質問 高知市では、プールの在り方、施設の更新や公立プールの活用について検討している。本市の状況は

答弁 大規模な改修は直近では予定されていない。

答弁 現段階で検討はできていながら、建て替えが必要になつた際には近隣校

質問 令和2年3月議会の質問で、博物館学芸員の常駐についての質問をし、指

答弁 指定管理制度の中では常駐可能な学芸員の配置ができるといふ答弁をしているが、現状を問う

答弁 可能性を探っているが、各種課題の解決には至

答弁 施設運営やイベント計画など、ノウハウに関する情報提供は行いたい。

学芸員の採用について

質問 4年近く前にも市庁舎で使用できる公衆無線LANの整備をしてはどうかと質問したが、現状を

答弁 市民の方からの要望や意見はなく、現時点では早期整備の必要性は低いと考えている。

質問 今後の公募に応募でききるような団体等を育成していくことが、地域の文化振興等の底上げにつながっていくと考えるが、市の考え方を問う

答弁 指定管理制度の基準に該当する事業者であれば、地域事業者が行う可能

質問 地域の団体や事業者が指定管理できることが望ましいと思うが、市の考え方を問う

質問 歴史・文化・伝統等つながる大事なことだ。学芸員の採用をすべきと思うが、考えを問う

子育て支援について

質問 以前の質問でも、雨天時も利用可能な子ども遊び場、集う場所として、休校中の学校や体育館の使用について提案したが、

答弁 今後、さらに配置の必要性が出てきた場合には、教育委員会とも協議を行い検討していく。

質問 休校中の施設を訪問し、検討したが、適地がない現在他の遊休施設利用を検討している。

下水、し尿処理について

質問 汚泥処理の方法について、肥料化等の検討はしないか

答弁 令和4年度は約4590万円。

質問 汚泥処理の方法について、肥料化等の検討はしないか

答弁 年度より調査研究に取りかかっている。



防災について 教育施策



↑一般質問の動画はこちらで見られます。



参加者数については現在集計中。昨年は約230団体、約9800人の参加があり、今年も同程度だと思われる。

質問 市役所も訓練行動を行ったか

答弁 市役所も率先して実施しているが、中には行動をしていなかつたという声も聞いている。

今後は職員全員が参加できる体制をつくっていただきたい。

質問 大規模災害発生時の情報伝達手段として、アマチュア無線を活用してはどうか、所見を問う

答弁 アマチュア無線については、東日本大震災での活動により近年注目されている。本市は活用に

質問 市全域に拡充されて人。

答弁 年間20人程度の想定の想定人数、実績について

奨学金制度について



質問 市全域に拡充されても高校生対象では実績がない。大学生や専門学校生も対象に、既存の奨学金と重複して貸与できる制度に拡充することができないか問う

答弁 先進自治体の取組を参考にし、効果等について慎重に検証しながら検討していきたい。



ついで検討したことはないが、今後、調査研究をしていきたい。

答弁 現時点において、充実した同様の制度もある中、目的が重複する市独自の制度を設ける考えはない。

9月1日に行われたシェイクアウト訓練について

災害発生時の情報網の確保について

質問 訓練の参加について

質問 災害発生時、電気や電話の不通が考えられる。情報網の確保について問う

答弁 不測の事態に備え、情報伝達手段を多重化することが重要であると考え、様々な取組を行っている。

質問 大規模な地震や自然災害発生時、電気や電話の不通が考えられる。情報網の確保について問う

澤良宜由美議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

・認知症対策について ・終活支援について ・市民の健康を守る対策について

質問 「共生社会の実現」に向けての取組は

答弁 認知症の方の見守り対策として「見守りシール」事業の実施に向け取り組んでいます。この事業は法の基本理念のひとつである「日常生活または社会生活を営むうえ心して自立した日常生活を営むことができる」に合致する事業と考えている。

質問 認知症サポーター育成と今後の取組について

答弁 見守りシール事業の周知を図るため養成講座を受講した事業所に見守り協力店として協力頂き、協議しながら適切なサービスなどに繋げる支援を行っている。

質問 総合的な終活窓口の開設はできないか



質問 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」について

質問 本市の認知症サポーターの人数は

答弁 令和4年度末現在で累積4701人。

質問 地域包括支援センターや終活も含め高齢者の総合相談窓口として対応していきたいと考えている。

認知症サポーター

質問 認知症にかかる法が公布されたことで今後の施策はこの法の趣旨に則り推進される。また市には認知症の人及び家族等の意見を聴き、計画を策定することが努力義務として求められており、画期的な法律であると認識している。

質問 認知症サポーター養成講座の開催状況は

答弁 令和4年度はJA女性部、看護学校などで7回開催した。これまでには銀行やスーパーなどでも開催しており、小中学校には毎年、年度初めに案内をしている。

質問 終活に関する相談事はどのような対応をしているか

質問 HP等で気軽に健康チェックができるサイトの掲載はできないか

終活支援について

質問 早期発見、予防の為の健康診断や各種がん検診、また生活習慣病等に関連の深い歯周病の早期発見につなげる取組として成人歯科健診も実施している。

質問 本市での取組及び啓発活動は

生活習慣病に対する本市の取組



地域で認知症の人やその家族に対して出来る範囲で手助けする、そのような見守りネットワークが構築されることで見守りシール事業も効果を發揮するものと考えている。

生活習慣病に対する本市の取組

質問 地域包括支援センターや終活も含め高齢者の総合相談窓口として対応していきたいと考えている。

市議会だより

川渕 誠司議員



旧下田中学校・旧中医学研究所の有効活用について 「検討会」「基本方針」「下田中の再編」「子どもの訴え」 子どもの権利について「こども議会」 生涯学習について「シルバー教室」 大学誘致の検証



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

質問 地元の意向を尊重すれば、検討会が高台に小中

答弁 地域の意向をできる限り反映するよう努めていく。



旧下田中学校

有効活用について

質問 該当する場所は地域にとって命の砦であり、指定避難所としての機能確保は「配慮」ではなく前提条件とすべきではないか

答弁 基本方針案の地域防災等への「配慮」を地域防災機能の「確保」へ表現を改め、施設等の利活用にあたっては、地域防災の拠点施設としての機能を確保することとする。

学校をつくる案を採択する可能性は十分にある。下田中学校の統廃合を凍結・延期はできないか

答弁 下田中学校が今年度をもつて休校することは決定事項である。下田中の高台移転や小中一貫校については検討会が議論すべきことではないと考える。

答弁 子どもの声は真摯に受け止めた。できることは対応したいが、教育委員会の方針を変えてまで対応することは現時点では考えていない。

こどもの権利について

質問 下田の子どもたちが保育所、小中学校の高台移転と小中一貫校化を求める署名を市に提出した際、市長は「各課と協議した上で、よりよい方法を探つていきたい」と答えたが、その進展は

答弁 市町村に子どもが意見表明できる場を確保する責任が課せられたと認識している。本市の取組の参考にすべく、こども議会も含め全国の先進事例を勉強しているところであ

答弁 年度初めに今年度での廃止の方向を確認した。6月30日に学級長会で方針説明。7月20日、全学級長より教室継続の要望書が提出される。8月22日、令和6年度に限り総合文化センターで、内容を縮小して継続することを回答。

答弁 齢者の生きがいとなる意義ある事業であります。継続を強く求めたが、今日までの経過は

シルバー教室について

質問 8月18日、教育民生常任委員会にシルバー教室廃止の方針が示された。高

答弁 令和4年1月26日に、内閣府地方創生推進事務局担当者に、電話で問い合わせを行つて確認した。

大学誘致の検証

質問 令和4年9月定例会で、「交付決定前の入札は構わない」という確認を取つて行つた」という財政課長の答弁があるが、その確認はいつ誰から取つたのか

答弁 令和4年1月26日に、内閣府地方創生推進事務局担当者に、電話で問い合わせを行つて確認した。

鳥谷 恵生議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

新食肉センターの整備の実現について



新食肉センター整備に至る経過について

質問 現食肉センターを建て替えることとなつた経過について

答弁 本市の食肉センターは現在年間約10万5千頭

をと畜し高知県の畜産業を下支えしている。施設は昭和42年に整備されたもので、50年以上が経過し、老朽化している。高知県から1県2と場の方向性が示されたことを受け、高知市は牛、四万十市は豚をメインとした整備計画を進めることとした。



整備の条件について

質問 整備費用などの負担を含め、どのような条件が整えば、食肉センターの整備が実現可能か

答弁

食肉センターがあることにより約150名の雇用が生まれ、食肉関連の経済波及分も合わせると約88億円もの経済効果があると試算されており大

くの臭いの課題はクリアできている。現在市内に養豚場の建設を希望している事業者では、他県において、100m以内にある住宅地の近くで操業されている事例がある。臭気対策



質問 本市に養豚場を誘致することがと畜頭数を増やし施設の経営安定化に重要と考えるが臭いなどの課題はクリアできるのか

答弁

上りきをしている状況なので、しっかりとした経営シミュレーションを作成すること。この点については、処理頭数の増加と、適切な料金の設定も大変重要である。

また最近は原材料が値上がりをしている状況なので、しっかりとした経営シミュレーションを作成すること。この点については、処理頭数の増加と、適切な料金の設定も大変重要である。

質問 本市の雇用と養豚業を守るために進めていく必要があると思うが市長の考えは

答弁 雇用と養豚業を守るために何か整備を実現させたい。そのためには、技術向上により臭いが出ず河川に汚水を流す事もなく、環境汚染もない構造の養豚場を

四万十市内に誘致し、食肉センターの経営を安定化させる必要もある。また化学肥料が高騰する中、食肉センターの汚泥で良質な堆肥を作る事で農家への貢献も期待できる。

は好気性バクテリアで臭気を分解しているため、ほとんど臭わない。



*西土佐保健分室に来年度以降も保健師の常駐を! *市民の生活状況に応じた健康保険証の継続を! *合併浄化槽の維持管理の地域指定について聞く! *県のシラスウナギ漁獲枠拡大についての見解は!



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

質問 透析等で頻繁な通院が必要な場合の通院補助は。路線バスまで遠隔地と

質問 市が各地域で実施している健康診断で、会場までの通路が危険な個所がある。手立てはできないか

質問 複数の保健師によつて、一つの市としての体制で取り組む。これまで西土佐ではベテラン保健師が配置されていたが、今後経験年数の少ない保健師が配置されても、任務の円滑な遂行には課題があり、人材育成の面でも厳しく、常駐は困難。

質問 来年度から西土佐保健分室の保健師の常駐がゼロになる。医療機関が一つしかない西土佐地域で保健師常駐の継続を

市民の健康維持

なる地域へのデマンドバスの運行拡大は。また遠隔地から幅多けんみん病院の送迎について関係市町村で検討を

質問 通院に要する費用の一部を支給している。デマンドバスの運行拡大計画は現在ない。各市町村との連携については今後の検討課題としたい。

質問 6月議会で市内の大半の施設管理者がマイナ保険証の管理を困難と答えたとの答弁があつたが、その支援策は。また、マイナ保険証に関する相談窓口はあるのか

質問 現行の健康保険証の継続を求める人が多い中、マイナ保険証をめぐつては全国では混乱が報告されている。本市の状況は



マイナ保険証

質問 清掃や点検を行い、危険な場合は張り紙などで注意喚起する。

し尿処理、合併浄化槽について

質問 浄化槽の清掃（汲み取り）事業者は中村地域が6、西土佐地域が2。人口割では、西土佐地域は中村地域の10分の1しかない。

川漁の活性化



質問 高知県はこれまでシラスウナギの採捕量の上限を350kgとしてきたものを、突然600kgに拡大する方針を決めた。天然ウナギは四万十市の名物であり、資源確保が重要だ。県方針に関する見解はどう。

質問 漁協によつて見解があり、非常に難しい判断がなされたと認識している。



質問 高知県知事が浄化槽の保守点検事業者の登録を行つており、その申請の際に事業者自らが営業地域を記入することになつていて。

前田 和哉議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

◇教育環境

東山小学校の建て替えに伴う諸課題

◇南海トラフ地震対策

住宅の耐震補強について

質問 安並には児童305人が徒歩や自転車、また親御さんの送り迎えにより通うこととなるが、それぞれ安全は確保されているか



東山小学校仮設校舎（安並）

質問 校区は広く保護者の送迎が多いことから、校舎北側に50台以上の駐車場を設け一方通行のロークリー式とすることで、混雑が全て解消されると見ているか

新校舎について



グリーンベルトが設置された横断歩道

質問 本市の耐震化を推進する補助制度はどのように進められているか

昭和56年以前の旧耐震基準で建築された住宅の耐震について

質問 近年の工事費の上昇等も鑑みて増額の検討すべきと考えている。他市町村の状況も参考に見直しに取り組みたい。

答弁 事業者に委託し中型バス2台で逢坂トンネルを起点に古津賀2丁目に入るものと、雅ヶ丘団地を出発し3丁目に入る2路線を考えている。

両路線とも、朝7時ごろ出発し所要時間20分程度で運動公園内の温水プール駐車場へ到着する。

質問 通学距離が4kmを超える下田分岐より東に住む1、2年生67人に向けてのスクールバス運行について

安並、仮設校舎への通学について

質問 警察や県、市の道路管理者とともに、6月に安全点検を実施した。

質問 敷地が狭隘で出入口が1カ所しかないことは変わりなく、送迎方法や乗降場所について、学校と保護者の間で協議し、ルールを決めて頂きたい。

質問 限が92万5千円で補助上限を超える場合が多く、超える分は自己負担となっている。

答弁 現在、断熱材は屋根や床には入っていない。床には入っていない。断熱材の整備効果や費用の検討を行い、非常時の指定避難所としての必要性も含め協議していく。

質問 改築される体育館は断熱性、遮熱性が確保されているか

質問 名古屋工業大学が進める工事費が130万円ほどに抑えられる低成本工法とはどのようなものか

質問 既存の天井や床をさす補強でき、工期が短縮されコストを抑えられる工法で、ほとんどがこの工法を採用している。

質問 本市の改修補助額は県下で最も低い水準だが、県下並みに上げるつもりはないか

質問 本市の改修補助額は県下で最も低い水準だが、県下並みに上げるつもりはないか

質問 既存の天井や床をさす補強でき、工期が短縮されコストを抑えられる工法で、ほとんどがこの工法を採用している。

質問 既存の天井や床をさす補強でき、工期が短縮されコストを抑えられる工法で、ほとんどがこの工法を採用している。



誇れる四万十市政を目指そう!

熱中症対策について

来るようになる良い機会であり女性に偏っている育児の負担軽減にもなると考えている。

育児の負担軽減にもなると考えている。

職場の意識改革を含めた

職場の意識改革を含めた取組が必要ではないか?

十市水道工業協同組合と協議を行い合意の上で業務委託を行っている。

燃料費高騰の検針業務単価への反映は受託者の意見を考慮し近隣市町村の状況もみながら予算編成のたびに検討していく。

模範となる方の功績を称えることは同様の活動を続けている方の励みとなり後継者の育成にも繋がると考えている。

毎年もしくは隔年ごとの開催が出来ないか?

次回開催予定が不明であることとも好ましくないのでないか?

年々気温の上昇が続き、生命・健康に危険を及ぼすほどの暑さの日が多くなっている。

職員の熱中症対策をどのように考へているのか?具体的な熱中症対策を準備する時期になつていいのではないか?

答弁 近年は極端に暑い日が増加し熱中症対策はこれまで以上に必要と考えている。

職員の体調管理のため各所属長のヒヤリング、近隣の市町村への調査をしていきたい。

答弁 育児休業は、妊娠・出産・育児等と仕事の両立を支援し、男性職員の育児参加の促進、女性職員の活躍促進のため重要なと考えている。

産後パパ育休について等の取組を継続し積極的な育休取得を支援している。

産後パパ育休について

水道の検針手数料について

質問 出産直後の新人ママには新人パパが付き添うのが理想と考えている。産後パパ育休の取得は不慣れな新人パパがテキパキと新生児の世話を出

質問 検針手数料は、一件79円と聞いているが算定基準は何か?

答弁 現在は不可能であるが、設備の更新時等には、協力していきたい。

大きい規格の発電機整備が可能かを含め、今後の検討課題に成ると考えて



水道の維持について

質問 停電時に自家発電設備を持たない水道の維持については、必要に応じて発電機の設置を行うと聞いていい

答弁 表彰は、市政の発展・文化の向上・市民の福祉増進等に多大な功績のあつた方や模範となる善行を行つた方を表彰している。多方面より一定数の推薦が期待できることから3年から4年間隔が望ましいと考えている。

次回開催については広報等で伝えていきたい。

市民表彰式について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

上岡 正 議員

県下一高いごみ袋代を下げるよ 大学誘致失敗の諸課題について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

質問 記憶にないなら、私が
1袋200円、そして3倍
になつた地域があると答
弁されました。3倍になつ
た地域はどこか?

?お聞きします

質問 3倍に上げた市はど
こですか?

答弁 当時は覚えておりま
したけど、今は記憶にござ
いません。

質問 料金はごみ減量化の
取組を進める中で考える
べきであり、その取り組ん
でいることの一例をあげ
たもの。

質問 6月議会の答弁では
1袋200円、そして3倍
になつた地域があると答
弁されました。3倍になつ
た地域はどこか?

答弁 料金はごみ減量化の
取組を進める中で考える
べきであり、その取り組ん
でいることの一例をあげ
たもの。

質問 後2年以内には、確実
に市長選挙がありますの
で、その時にごみの減量・
無料化もしくは安くする
のを公約で選挙をやる人
が出てきたら良いのでは
ないかなと思っておりま
す。

?お聞きします

質問 6月議会の答弁で、市
長はまずはごみの減量化
に取り組む、コンポストも
1つの方法ではないかと
答えました。前市長が、3
年目の時に新しい政策と
して補助金を付けた。中平
市長は2年目の平成28年
に補助金を切ったんです
よ。市長は、ごみ袋を下げ
式と言う質問には、コンポ
ストと言ふ考え方もある。私
は、市長の答弁に納得して
おりません。合理的な答弁
を求めます

質問 例として言つたもの
で、導入するといつた記憶
が誕生し、6月議会で新市長
が誕生し、6月議会で18円
に戻りました。中身も知ら
なくて答弁をしたのです
か?お聞きします



質問 後2年以内には、確実
に市長選挙がありますの
で、その時にごみの減量・
無料化もしくは安くする
のを公約で選挙をやる人
が出てきたら良いのでは
ないかなと思っておりま
す。



質問 大学誘致の失敗の責

質問 約3億2千万円の補
助金は、概算払いとして支
払っているので市の規則
及び要綱には違反してい
ないと答弁がありました。
私は、2回に渡つて全額
支払われているので、概算
払いではないと思つてお
ります。そこで課長にお聞
きします

質問 大学誘致の失敗の責
任について、今までの答
弁では仕事で返すと繰り
返しています。私は、約3
億2千万円は残された任
期1年8ヶ月では到底取
り返せないと思つております。大学からの補助金返
還も今までの執行部の説
明では、私は非常に難しい
と思つております。文科省
から8月23日に申請の手
直しを指摘され、市が知つ
たのは翌日と答弁があり
ました。市長は認可につい
て、難しいと思わなかつた
のですか?お聞きします

答弁 補助金が確定する際
の条件でございまして、概
算払いを行う際に適用す
るものではございません。
概算払いにつきまして
は要綱に違反するもので
はないと判断します。



・子ども達の夏場の遊び場の整備 ・子どもを育てながらでも働きやすい環境整備 ・学校給食の今後の対応



黒潮町の河川プール

夫婦共働きでは栄養面 を考慮した弁当を作るのは 大変であるため、弁当の宅 長期休暇期間中の 学童保育の昼食について

質問 高騰が続く場合、現在の食材や献立の工夫だけでは厳しくなる為、1食当りの単価を上げざるを得ないと考えている。学校給食センター運営委員会での意見交換や近隣市町村の状況等も参考にし、今後の方針性を検討していただきたい。

後食費の現状と今 後の給食費について

質問 今後も食材価格の持続的な値上げが懸念される。その場合は1食あたりの現行の給食単価では、給食の品質の維持が厳しいと考えるが本市の見解は

答弁 現在、国土交通省と市が策定を進めている、かわまちづくり計画での整備案の一つとして検討中である。治水安全度への影響の確認や維持管理の方法等、解決しなければならない問題があるが、四万十川の魅力向上につながるハド整備、ソフト対策に取り組んでいきたい。

答弁 本市ではファミリーサポートセンターで病児の預かりを実施している。受入れの仕組みとしては、預けたい方がファミリーサポートセンターに登録した上でまずかかりつけ医を受診し、許可が出れば援助会員に依頼を行うことで、自宅もしくは市の方で預かる部屋を用意している。

質問 同じ川遊びでも、より安全な河川プールを四万十川の入田河川敷に整備することについて本市の見解は

質問 子どもが保育所や学校を休む度に仕事を休まるを得ない環境下の中、病児保育を本市で取り入れることは、子どもを育てながらでも働きやすい環境整備となるが本市の見解は

河川プールの整備について

病児保育について

質問 代金の集金や注文受取人等の人員が必要であるなど一定の課題があるため、現時点で早期に開始することは考えていない。運営体制の見直しも進める中で課題が解決され、かつ二ーズがある場合、運営委員会や保護者の意見を聞きながら、個別に実情に応じた対応をしていきたい。

質問 現在、国の少子化対策で給食費を無償化する検討もされている。給食の食材費も影響を受けている中ではあるが、国による無償化が始まるまでの家計負担軽減を目的とした时限的な措置で、現行の給食費からの値下げは検討できないか

質問 現在、国は少子化対策で給食費を無償化する検討が財源の問題もある為、今後活用できる財源等が措置されれば、様々考えられる物価高騰対策や子育て支援策と比較検討し、本市において有効な施策となるならば検討したいと考えている。



谷田 道子議員



・保険者機能強化推進交付金の活用で補聴器購入助成を ・市民と決める政策作りが市政運営のカギ 市民の政策提案制度の検討を ・総合文化センター(しまんとぴあ)の公民館や社会教育の機能はどのように

質問 市長、ぜひ補聴器の助成制度を一步前に進めて頂きたい

答弁 補聴器補助制度については今年度も高知県市長会を通じ、国に対し要望



質問 介護予防事業費に既に充当しているが、補聴器の購入補助に当該交付金を財源として充当することは制度上は可能である。

質問 文化複合施設など市民の意見は丁寧に聞きパブリックコメントなども求めってきた。しかし、市民は決定の場には参加しないなかつたのではないか。

市民も決定に参加して行政と一緒に決める。市民と行政が一緒になって政策実現をさせていく。「市民と決める政策作り」が市政運営のカギになるのではないか

質問 本市でも活用できないか

質問 市民参加の政策決定

答弁 公募型政策提案制度は、地域の活性化や行政課題の解決に向けた公益的な事業について団体等から提案をしていただくものと認識している。今年度から試行している公募委員候補者名簿登



質問 市民がA4用紙に提案を書いてそのあと行政と一緒に精査していくという形で新たな課題解決の場にもなっている。そういう取組についてどのような認識をもっているのか

質問 公民館活動は？

答弁 公民館に求められる市民大学や文化教室など多様な学習機会の提供や地域づくりに関わる活動の支援などは、指定管理者もしくは生涯学習課で行う。生涯学習の振興については、定期的に事業の評価と見直しを行いながら市民にとつてよりよい施設となるよう進めていった。

質問 市民の声を反映させる方法として、全国的には市民が政策提案を実施しているところがたくさんある。市民協働の事業の提案制度です。

録制度の実施状況と効果などを踏まえて、全国で導入している自治体の取組も参考にしながら制度導入は検討してみたい。



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

補聴器購入助成

質問 補聴器購入助成制度の動きは全国的に広がり土佐清水市でも実施している。

を行っている。聞こえの問題については日本全体の課題なので国において制度化すべきだと考える。



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

教育について 生涯学習について 福祉について

質問 小中学校のプール修繕費について

本市の小中学校のプールだが、築30年以上が数校あり、また、最も古い下田小学校の昭和43年10月に建設された築50年以下の改修費や修繕費を聞く

答弁 教員の負担軽減や、専門性の発揮を目的に、来年度、小学校にできるだけ、教科の専門の教員が配置できるように、県教委のほうにも交渉しているところ

質問 小学校の体育の授業は、全小学校で専門の体育教員が担当すべきだ。特にプールでの水泳授業があり、水泳は命に関わる運動であるので体育の専門教員を配置すべきではないか

小学校の体育教員について

答弁 小学校全体の維持管理費は、令和2年度14校で約700万円、令和3年度13校で約800万円、令和4年度が11校で約50万円、中学校全体では65万円、令和3年度が9校で約180万円、令和4年度が5校で約130万円となっている。

が、今後は、高知県や、他市町村の事例を調査しながら、駐車場利用料について検討していきたい。

保育所・小中学校の駐車料金について

質問 高知県では平成19年ごろから通勤で自家用車を使用する場合には、学校等敷地内に駐車する場合には教職員駐車場控除として駐車料金を徴収しているが、本市においては徴収していいない。もうそろそろ検討すべきではないか



四十万市史編纂について

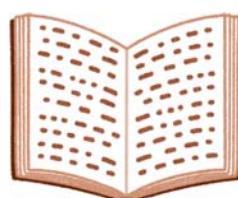
質問 四十万市史の編纂ですが、中村市史の最初の発行が昭和44年1月3日に3月31日に発行され、続編が昭和53年3月31日に発行されているが、発行から50年以上経過しているが、四十万市史の編纂はあるのか

答弁 市が所有する土地や、借り上げた土地への駐車について、福利厚生の一環として、駐車場の料金負担が無いようにしている



介護職員初任者研修について

質問 介護職員初任者研修ですが、高齢者が増えてきている中、本市にとつて必要不可欠な資格だと思っている。そのため昨年度から導入した研修だが、受講者数は



え、歴史の記述について更新が必要となつてきているので、前向きに検討している。

答弁 中村市史と西土佐村史の通史が発行されてから50年以上が経過する中、市内での歴史資料の調査や発掘調査などが進み、市の歴史に新たな知見が増

答弁 令和4年度は定員20名で募集を行ったところ、14名が受講し、そのうち12名が資格を取得した。また、令和5年度も14名受講の申込みがあり、研修を開始している。

大西 友亮議員



国保税の値上がりについて 総合文化センターについて 処理水の海洋放出について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

国保税の値上がりについて

質問 昨年に比べかなり国保税の値上がりがあつたと思う。

答弁 今回の国保税の値上がりにより多くの世帯が影響を受けているとと思うが、影響の出た世帯は何世帯位あるのか

質問 県全体の保険料が統一されようとしている。何處に住んでいても保

答弁 調定額で前年度比2616万7800円の増となつており、今回の調定額の増額要因としては、保険税の税率の改定の他に、世帯数、被保険者数、所得状況の変化等も含んだ数字であり、全世帯の課税額が昨年度より増額しているわけではない。

税率改定の影響を受けた世帯数は令和4年度課税世帯を基準とした場合、3253世帯が増額しており、率として67.98%となつていて。



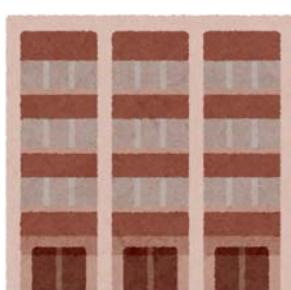
総合文化センターについて

質問 保険料は一緒になるが、医療にかかる機会は、高知市内と四十市内では大きく違う。

答弁 この医療格差についてどのように考えているか聞く

答弁 医療提供体制の格差について、早急に解決すべき課題であると考えており、保険料水準統一の協議の中でも、県に対しても格差の解消を要望している。

医療供給体制については、県が「高知県地域医療構想」や、「高知県保険医療計画」を策定し、地域ごとの医療需要に応じた適正な医療供給体制の構築を推進しており、保険料水準統一に向け在宅療養制度の充実等、医療体制の充実を図るものとしている。今後、医療格差の解消が図られるものと期待している。



処理水の海洋放出について

質問 福島第一原発で発生した処理水を海洋放出したことにより国内外で色々な混乱や風評被害をしているが、市長はどのように考えているか

答弁 パブリックコメント等で得られた意見については、できるだけ尊重しながら計画に反映しているが、運営体制が変わっている中で要望どおり反映出来ていない部分もある。

答弁 ただ、処理水の海洋放出が始まつて以降、風評被害による水産物の買い控え等の影響が懸念されている。

なお、この問題については、東電及び政府が十分なサポートを行っていく必要があると考える。



「自治体のデジタル化の取組について」「AEDの活用について」「今後の住まいの確保について」



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

答弁 デジタル技術の活用により、地域が抱える様々な課題を解決することができ、住民の利便性向上や、地域の活性化を目指したい。具体的には、行政手続のオンライン化を進めることにより、市役所に来庁する必要がなくなり、時間や場所を選ばず手続が行えるようになります。

質問 本市でのデジタル化の取組計画について
答弁 自治体情報システム標準化・共通化への対応や、罹災証明書の発行申請のオンライン化など現在進めおり、また外部人材の活用や、電子地域通貨な

答弁 デジタル技術の活用により、地域が抱える様々な課題を解決することができ、住民の利便性向上や、地域の活性化を目指したい。具体的には、行政手続のオンライン化を進めるこ

とにより、市役所に来庁する必要がなくなり、時間や場所を選ばず手続が行え

るようになります。

質問 デジタル化を進める中で市民にとっては、どのような利点があり、どのようなサービスの向上につながるのか

自治体のデジタル化について

どについても先進自治体の視察などを行いながら、研究をしているところであります。

質問 来庁者が申請書類に手書きで記入しなくてもよい、書かない窓口の導入について

答弁 ワンストップ窓口については、国の方でアドバイザー制度を創設されているので、その制度を活用しながら、7年度以降の導入について検討していくところです。

AEDの活用について

質問 現在市が管理しているAEDの設置状況と避難所には何基設置しているのか
答弁 市の関係各課が管理しているAEDは、市庁舎・避難所・観光宿泊施設・公立保育所・休校している学校

質問 AEDをいち早く必要な人のもとへ届けるための、アプリを活用した、周知の取組についての考えは

答弁 令和2年から4年までの3年間で、普通救命講習、救急法を受講した人数は2008人となつており、市民によるAED装着例は消防署に確認したところ9例のことです。

質問 この3年間で、心肺蘇生訓練を受けた人数と、現実にAEDを使用した人数は



答弁 県営住宅などにして、一般に貸出すという手法は想定されていないようですが、今回の意見も踏まえて県の方に一般に貸し出すようなことは出来ないと思います。

質問 現在県の職員住宅の空室が大変目立ちます。市として、県に貸出しについて相談はできないものか

住まいについて

を含む小中学校体育施設など、市民が使用できる物は86基で、そのうち避難所には21基設置されております。

答弁 アプリを活用することで、一人でも多くの命を救う可能性が高くなると思うので、信頼性のあるアプリを選定し、市が設置しているAEDの登録を行い市民に周知していきたいと思います。

総務常任委員会報告

6月議会以降の活動をご報告。

7月20日に下記内容で管内視察を行いました。

- ・下田保育所の避難訓練に同行

- ・6月2日の大雨による実崎地区の土砂災害現場視察

- ・山路地区の避難タワー視察

- ・西土佐の星羅四万十、津野川若者住宅、旧公営住宅の視察

各々に実際に現場を見ること、直接お話を伺うことで肌で感じ課題を実感でき、対応や今後について委員から多くの意見が出ました。

8月22日には委員会を開催し、下記内容の調査を行いました。

- ・旧下田中学校及び旧中医学研究所の利活用の進捗について

- ・投票率向上に向けての取組と意思決定について

執行部の説明を受け、各委員からの質問、執行部答弁を繰り返し、今後に活かして取り組んでいただくよう、各種意見が出されました。

また「令和5年6月定例会陳情受理番号第1号 旧下田中学校校舎等を中心とした下田地域の防災や活性化策等について」の審査を行い、趣旨採択と致しました。



下田保育所の避難訓練の様子

産業建設常任委員会報告

本委員会の7月から9月議会までの活動を報告です。

はじめに7月10日に12カ所の管内視察を行いました。視察先は四国で唯一の実証実験として選定された楠島の「マスプロダクツ型排水ポンプ設備」や、具同新水源、6月大雨による災害現場、給食の地元食材利用状況、西土佐では農業公社の地盤沈下などです。

視察内容は新水源の完成により水道水の白濁が無くなるとの説明、災害では市全体の公共土木施設災害の被害報告額は、4億8,200万円との報告があり、重要な道路の応急対応現場を視察しました。

次に8月25日に委員会を行い、管内視察の報告・調査事項として「四万十川学遊館及びトンボ自然公園の指定管理について」と「河川環境改善に係る取組の現状について」の2件、報告として「食肉センター整備に係る進捗状況」の1件を受けました。最後に議会中の9月20日に委員会が行われ、議案2件の審査、その他として四万十川学遊館の運営管理について参考人の出席を求めこととなりました。



6月大雨による災害現場
(市道衛生センター線)

教育民生常任委員会報告

管内視察(7月11日)

①八束小学校:旧八束中学校への移転に伴う問題点と児童の様子を確認した。

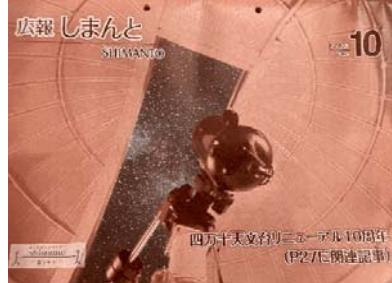
一部対策が必要なところがあり、応急措置は取られているが、早期の工事が待たれる。

②利岡小学校:旧後川中学校への移転に伴う問題点と児童の様子を確認した。

大きな問題点は確認されなかった。

③川崎保育所:建て替えの工程に入った具同保育所の参考とするため、建設当時最先端の施設として評価の高い当保育所を見学した。木をふんだんに使った温もりと園児にやさしい設備は今後建設される保育所には大いに参考となる。

④四万十天文台:執行部や星空ガイドの方から、当施設が作られた経緯や利用状況について説明を受け、観測施設内を見学した。新しい撮影機材の導入で、活用の広がりや電子観望会などイベントの実施が期待される。



広報10月号の表紙を飾った
四万十天文台

所管事項調査(8月18日)

以下の項目について、執行部より説明を受け、調査を行った。

①シルバー教室について

②安並運動公園テニスコートの夜間照明について

③児童・生徒の実態と動向について

④教職員の実態と動向について

⑤保育所入所児童に対する保育士の定数について

「令和5年度 住民と議会との懇談会」を開催しております

10月24日より「住民と議会との懇談会」を開催しております。

今年度は、4年ぶりの開催となっており、下表の11地区の会場で開催いたします。懇談会では、議会から報告を行ったあと、住民の皆様との意見交換を行う予定となっております。

なお、お住いの地区以外の会場への参加も可能となっておりますので、お住いの地区で参加できなかつた方も是非ご参加ください。

○開催予定日等

地 区	開催場所	開催日時	担当班
東 山	古津賀ふれあい会館	令和5年10月24日(火)18:00~	B班
蕨 岡	J A高知県中村東部出張所	令和5年10月25日(水)18:00~	B班
東中筋	J A高知県中村西部事業所	令和5年10月28日(土)18:00~	C班
富 山	大用地区集会所	令和5年10月29日(日)18:00~	C班
下 田	下田地区防災活動拠点施設	令和5年10月30日(月)19:00~	B班
後 川	J A高知県中村北部出張所	令和5年11月1日(水)10:00~	A班
八 束	間崎多目的集会所	令和5年11月1日(水)10:00~	C班
中 筋	中筋中学校1階職員室	令和5年11月2日(木)18:30~	A班
大川筋	川登生活改善センター	令和5年11月9日(木)10:00~	A班
具 同	具同田黒集会所	令和5年11月10日(金)18:00~	A班
西土佐	西土佐総合支所	令和5年11月10日(金)18:00~	B班
中 村	中村地区での開催場所の設定はありませんが、どこの地区にも参加できます		

※1 議員は、A班、B班、C班の3班に分かれてお伺いします。

※2 お住いの地区以外の開催場所にも参加可能です。

※3 参加に当たっての事前申込等は不要です。

○班構成と事務局担当者

班	議員名			事務局担当者
A班	平野正議員	山崎司議員	川村一朗議員	土居
	廣瀬正明議員	西尾祐佐議員	川村真生議員	
B班	上岡正議員	前田和哉議員	寺尾真吾議員	西澤・近藤
	大西友亮議員	澤良宜由美議員	鳥谷恵生議員	
C班	宮崎努議員	上岡真一議員	谷田道子議員	岡村
	川渕誠司議員	松浦伸議員	山下幸子議員	

お問い合わせ先:四万十市議会事務局(担当/土居)電話34-5071



分野別意見交換会を開催します

四万十市議会分野別意見交換会実施要綱に基づき、下記の日程で分野別意見交換会を開催します。

分野別意見交換会は、「四万十市内に所在し、活動する団体」を対象に開催されるものとなっており、対象団体が決めたテーマに沿って行います。開催を希望される団体は、市議会事務局まで連絡をお願いいたします。

なお、分野別意見交換会の結果については、市議会公式ホームページ等において公表を予定しております。

○開催日時

令和5年11月20日(月) 14時00分から15時30分(予定)

○開催場所

四万十市立武道館(安並運動公園内)

○対象団体

四万十市区長会

分野別意見交換会の開催について

- ・定例会の会期中は開催できません
- ・意見交換会の1回当たりの開催時間は2時間程度とします
- ・意見交換会における対象団体の出席者は3人以上15人程度とします

委 副 委
員 員
員 長
鳥澤前上川宮大寺
谷良田岡村崎西尾
宜
恵由和真一 友真
生美哉一朗努亮吾

広報広聴委員会

9月4日に始まつた9月四万十市議会定例会は予定通り22日に閉会となりました。令和5年度の補正予算や令和4年度の一般会計決算など26議案が提出され承認・認定・可決されました。一般質問は18名中14名が行いました。構文会章はよりお伝えになりますが、議論が一般質問から項目を担当抜擢された議員自らが一般質問から文章を作成。答弁の内容は担当項目をなにに該当するか確認し、了承を得たものになります。記事の原稿は内文で記載されています。記事の表紙から裏表紙まで校正を行い、皆さまのお手元に届きます。その後、広報広聴委員会が開かれます。各般質問記事、表紙から裏表紙まで校正を行います。各委員長により記事が作成されておりました。また、今回の議会から各委員会の活動報告が始まります。各委員長により記事が作成されておりました。何かお気づきの点があります。最後に、今月から4年ぶりの市議会との懇談会が開催され、お待ちしております。お知らせください。

9月4日に始まつた9月四万十市議会定例会は予定通り22日に閉会となりました。令和5年度の補正予算や令和4年度の一般会計決算など26議案が提出され承認・認定・可決されました。一般質問は18名中14名が行いました。構文会章はよりお伝えになりますが、議論が一般質問から項目を担当抜擢された議員自らが一般質問から文章を作成。答弁の内容は担当項目をなにに該当するか確認し、了承を得たものになります。記事の原稿は内文で記載されています。記事の表紙から裏表紙まで校正を行います。各委員長により記事が作成されておりました。また、今回の議会から各委員会の活動報告が始まります。各委員長により記事が作成されておりました。何かお気づきの点があります。最後に、今月から4年ぶりの市議会との懇談会が開催され、お待ちしております。お知らせください。

編集後記

発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827
お問い合わせ、ご意見等については「四万十市議会」まで

次回定例会は12月4日からの予定です。ぜひ傍聴にお越し下さい。

(西土佐総合支所では1階市民室で視聴いただけます)

※議会会議録は議会専用ホームページ (<http://city.shimanto.gsl-service.net/>) で閲覧できます。

※令和5年9月定例会会議録の閲覧開始及びホームページへの掲載は12月中旬の予定です。

[市議会のホームページは…]

URL:<http://city.shimanto.gsl-service.net/>

[You Tubeによるライブ中継・録画映像配信は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

※市議会ホームページからもご覧になれます。

[市議会のフェイスブックは…]

URL:<https://www.facebook.com/Shimantoshigikai>

[市議会のLINEは…]

LINEの友達検索画面からID検索で追加！⇒市議会ID『@kco2522u』